

民主党 神戸市会議員

大井としひろ活動報告



安心・安全・
住みよい須磨の
街づくりを全力投球！

神戸市会議員

大井としひろ

新潟県中越地震および台風23号により被災された皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

平成十五年度公営企業会計決算並びに平成十六年度補正予算等を審査する第三回定例会は、十月七日決算及び関連議案九件を承認し閉会しました。

決算特別委員会委員に選任され、局別審査で、みなと総局の港湾事業会計及び新都市整備事業会計について、また保健福祉局の病院事業会計について、民主党を代表して当局に対し質疑を行いました。

私の主な質疑内容をご報告させて頂いてご批判を仰ぎたいと思います。

「みなと総局」

〔港湾事業・新都市整備事業会計〕

Q 「ポートセールス・企業誘致について」

神戸港が、人・物・情報が集まる総合的な交流拠点として二十一世紀の国際港湾という役割を持続させるためのポートセールスや企業誘致は、どのようにして行うのか？

A (みなと総局長)

神戸港の取扱量は厳しい状況で

あり、震災前世界第6位だったものが、アジア諸港の整備の進展、日本企業の海外進出などでコンテナ取扱量が震災前の七割程度にしか回復していないが少しずつ改善の兆しが見えている。神戸港の特徴として①世界有数の基幹航路網を持っている②四国・中国・九州各港と密接に結ばれている③近畿、北陸、瀬戸内海、四国など西日本全域に広がる背後圏をカバーする交通アクセス網が整備されている。このセールスポイント

を船主・荷主にアピールし、より多くの貨物が神戸港に集まるよう努力したい。また、企業誘致にあたっては、平成九年に進出資格要件の緩和や最近では定期借地制度、長期分割傾斜減額制度など新たな企業誘致策を実施し、神戸港周辺に物流基地や製造工場など貨物を集積・発生させる企業の誘致を進めている。今後もコスト・スピード・サービスの強化を一層図りながら取扱貨物の増加と土地利用率を促進し、国際港湾の役割を果たして行けるよう努めていきたい。その他①スーパー中核港湾②阪神

「保健福祉局」

〔病院事業会計〕

Q 「救急体制の充実について」

中央市民病院は、西市民病院、西神戸医療センターや2次輪番病院との連携を図って市民にとってよりよい小児科救急体制を整え、頼りになる市民病院となるよう一層の充実を図るべきと考えるが見解をお伺いしたい？

A (保健福祉局長)

初期救急である1次救急は、従来からあるテレフォンセンター、仮設会が行っている急病診療所がある。十六年四月より二十四時間三百六十五日の電話案内業務を開始している。2次救急については、民間の病院の協力を得て、毎日東西ブロックで原

則1病院ずつ二十四時間体制を整えている。西市民病院、西神戸医療センターも一定の曜日、時間帯で救急医療に対応している。さらに中央市民病院が3次救急として小児科も含めて対応している。県立こども病院も限定的であるが紹介制の3次救急を行っている。平成十五年に市内で発生した救急患者のうち小児がかかった患者は、五万人のうち市民病院群でかかった患者は二二、〇〇〇人である。このような状況下において、市民病院群のみで救急に対応するのは限界であり、地域の医師と協力しながら今後さらに検討を加えて市民の小児科救急医療を守っていかなければならない。



決算特別委員会で質疑を行う大井議員

との局長より答弁がありました。その他①鳥インフルエンザ等の感染症対策について②臓器移植について③市民病院の運営形態について④西市民病院のあり方について⑤病院機能評価について⑥ホスピス・緩和ケアについて⑦医師確保と医療水準の向上について、の計8点について保健福祉局の方針等を質しました。

何事によらずご相談下さい

市役所についての意見、ご要望をお寄せ下さい

神戸市会議員

大井としひろ

〒654-0132 神戸市須磨区
多井畑南町22-15 TEL・FAX 743-6155
メールアドレス Kobe-001@leto.eonet.ne.jp

毎週駅前にてご挨拶をしております。お気軽にお声掛けください。(8:45~8:30)
月曜日：地下鉄名谷駅、水曜日：地下鉄妙法寺駅、金曜日：JR須磨駅

神戸港復活への道筋を質す

第三回定例会は公営企業会計決算八件を認定し、関連議案一件を可決して十月七日閉会しました。民主党は代表質疑に崎元祐治議員（須磨区）が立ち、①神戸港の活性化について②須磨ベルトコンベアの再利用・転活用について③中央市民病院の地域医療機関等との連携について④中、小型バスによる地域密着型バス路線導入について⑤地下鉄海岸線乗客増対策について等々を市長に質しました。

決算特別委員会副委員長に民主党から崎元祐治議員が選出され、委員には、田路裕規議員（灘区）、白井洋二議員（兵庫区）、大井敏弘議員（須磨区）、川原田弘子議員（垂水区）がそれぞれ局別審議にあたりました。

依然厳しい財政状況

主たる収入を使用料収入で随う公営企業会計は神戸市では八事業ありますが、各会計とも使用料収入の減少など、厳しい経営環境の下、徹底した経費の節減により歳出を抑制した結果、十五年度は四会計（新都市整備、病院、水道、工業用水道）で単年度黒字を計上し、十四年度と比べて全体で六十六億円収支が改善されました。しかし、患者の在院日数短縮や新規患者増により増収となった病院事



神戸バイオメディカル
創造センターにて

業会計では単年度黒字とはいえず、積赤字が依然三百二十五億円あり、さらなる経営改善が求められています。又、地下鉄海岸線の減価償却費負担が大きい高速鉄道会計は累積では千二十億円の赤字で、厳しい財政状況が続いています。

**港勢再生が
神戸経済活性化のカギ**

神戸港の活性化事業として、中古車・中古建設機械オークション会場のような大規模の用地を必要とする企業の進出を積極的に誘致し、神戸が中古車・中古建設機械の売上のメッカとなり、近い将来、中国からの取引が多くなれば、港の活性化につながるのではと質したところ、「中古自動車オークション企業は現在七社進出しており、来年にはポーターアイランドに最大手のUSSが進出する。全体面積

は三十ヘクタールを占め、年間販売五十万台以上見込まれている。中古建設機械メーカーの進出も進んでおり、これに伴い輸出業者も集積しつつあり、中国向け新規航路も生まれてきた。神戸港をこれらの輸出拠点にしていきたい。」との表明がありました。



兵庫オートオークションHAA神戸
一日7500台の中古車をセリにかける

新中央市民病院の 将来像は…

現在の中央市民病院をポーターアイランド二期へ移転、建替えるにあたっては、先端医療との連携と同時に地域医療機関や福祉施設との連携を推進するためのシステムづくりに取り組みべきだと主張したのに対し、当局は、一つの病院で発病の初期から病気が完治するまで一貫して治療を行なう院内完結型の医療から、患者の病状に応じて地域の医療機関が相互に役割を分担し、そして相互に連携をして治療を行なう地域完結型医療への転換が必要だとの見解を示しました。

可決された意見書

第三回定例会市会で可決された意見書は次のとおりです。

●兵庫県行財政構造改革推進方策後期五か年の取組みにおける福祉医療の取扱いに関する意見書

高齢者や乳幼児などへの医療費助成見直しの撤回を求める意見書で、市の財政状況では、県の補助金の削減を調代わりすることは到底不可能であり、見直しの実施については市民の家計負担増となるため兵庫県知事に再考を求めます。

●地方分権推進のための地方財源の確保等に関する意見書

●郵政事業の改革に関する意見書

郵政事業が果たしている公共的・社会的役割の重要性にかんがみ、郵便局のネットワークの維持等を国に要望する。



神戸空港島視察

十月一日の総括質疑には白井洋二議員が立ち、①港勢拡大の対応策について②地下鉄海岸線の乗客増対策として掲げられている市街地活性化プロジェクトの取り組み状況とその結果について③兵庫運河使用料の増収対策について等を市長に質しました。